

2008年3月期 決算説明会

株式会社デンソー

2008年4月25日

2008年3月期 決算のポイント

1. 好調な完成車輸出・海外日系車生産により増収

2. 配当は前年より9円増配し、54円

3. 円高の進行、北米自動車生産の減速により、
09年3月期は増収・減益

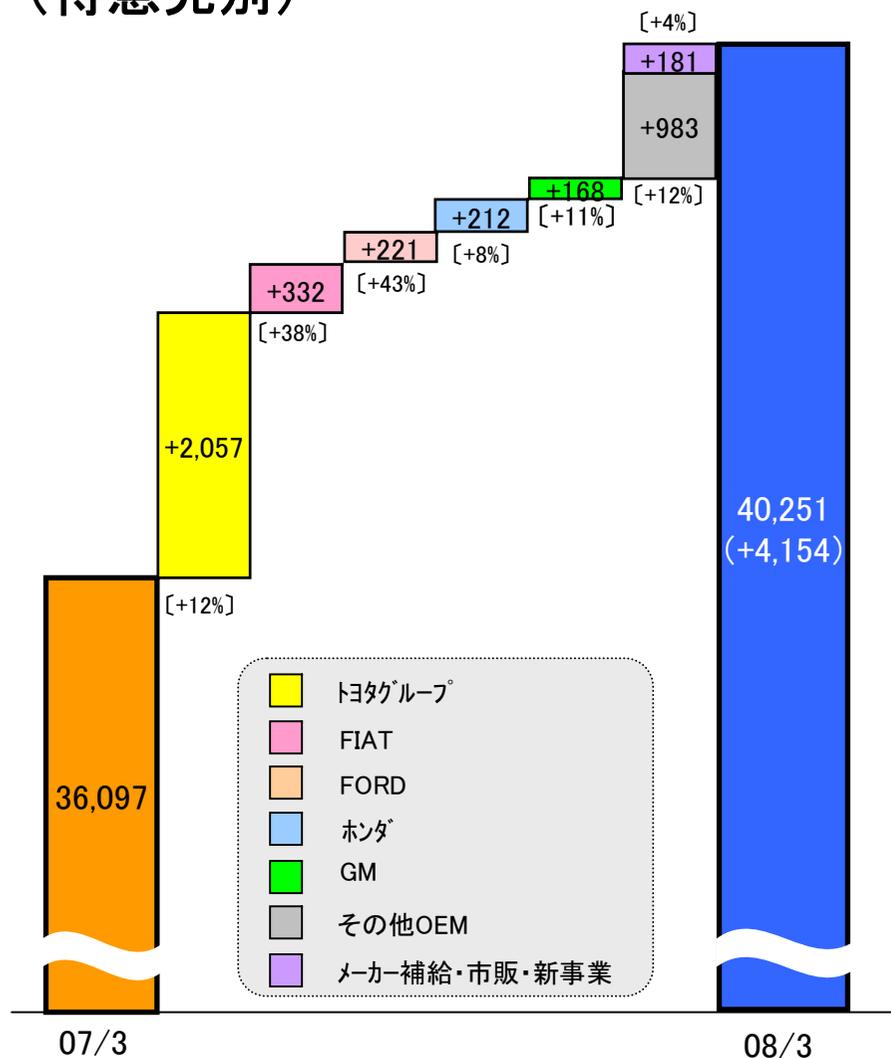
2008年3月期 連結決算

【単位:億円】

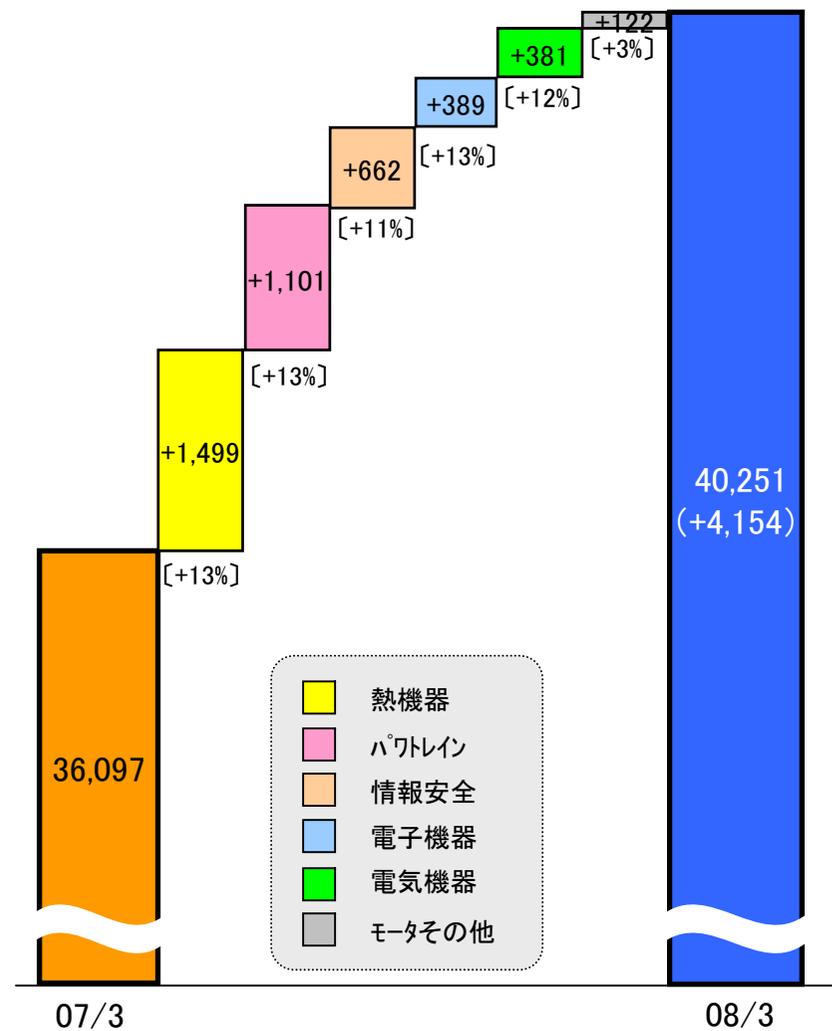
	08/3期実績	07/3期実績	増減額	増減率
売上高	40,251	36,097	+4,154	+11.5%
営業利益	(8.7%) 3,487	(8.4%) 3,031	+456	+15.0%
経常利益	(9.2%) 3,683	(8.9%) 3,221	+462	+14.3%
税引前利益	3,648	3,197	+451	+14.1%
当期純利益	(6.1%) 2,444	(5.7%) 2,052	+392	+19.1%
為替レート	113円/ドル 160円/ユーロ	116円/ドル 149円/ユーロ	3円 円高 11円 円安	
国内車両生産	1,180 万台	1,150 万台	+30万台	+2.6%
海外日系車生産 (内、北米)	1,253 万台 (460万台)	1,139 万台 (445万台)	+114万台 (+15万台)	+10.0% (3.3%)

2008年3月期 連結売上高増減要因

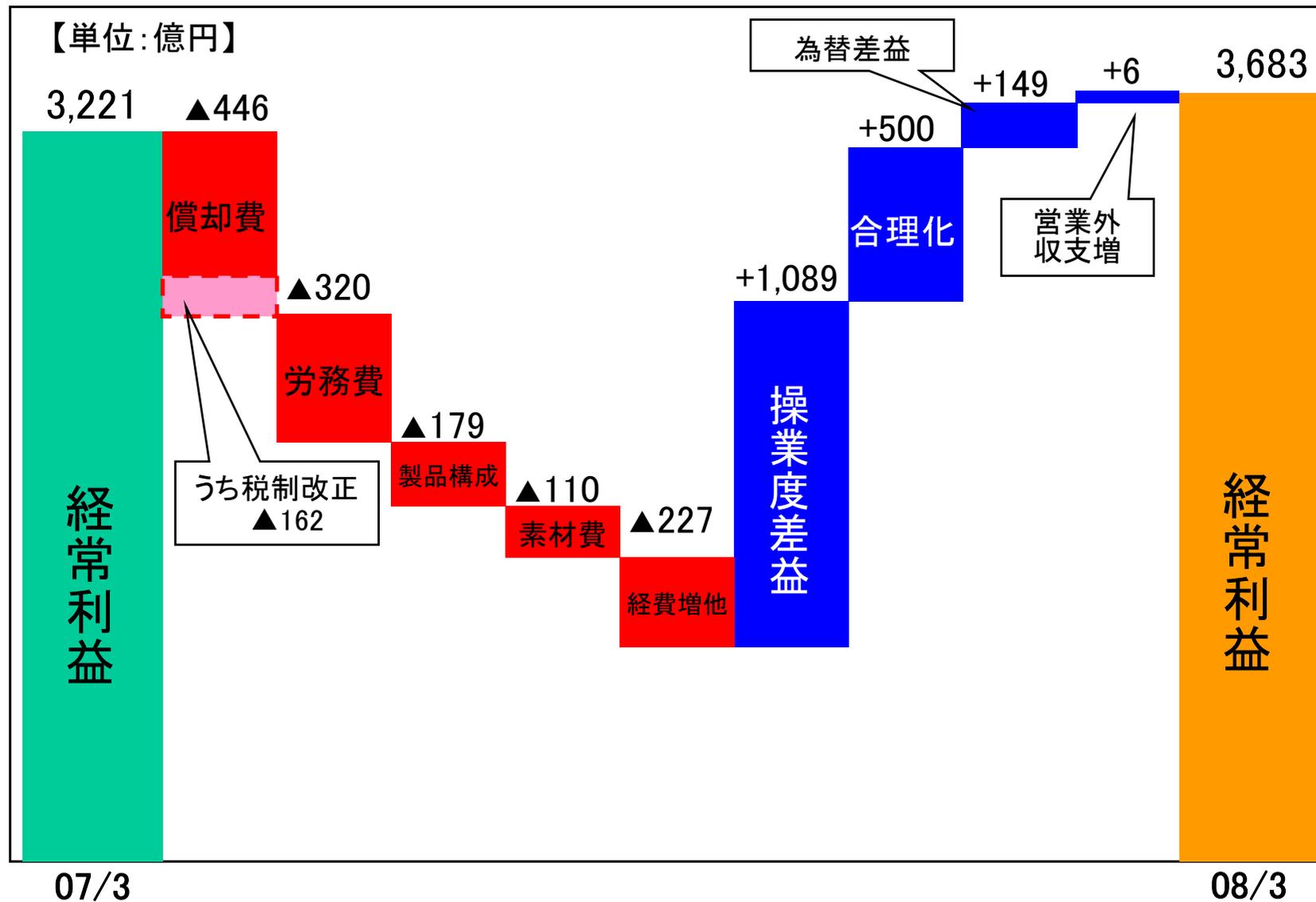
(得意先別)



(製品別)



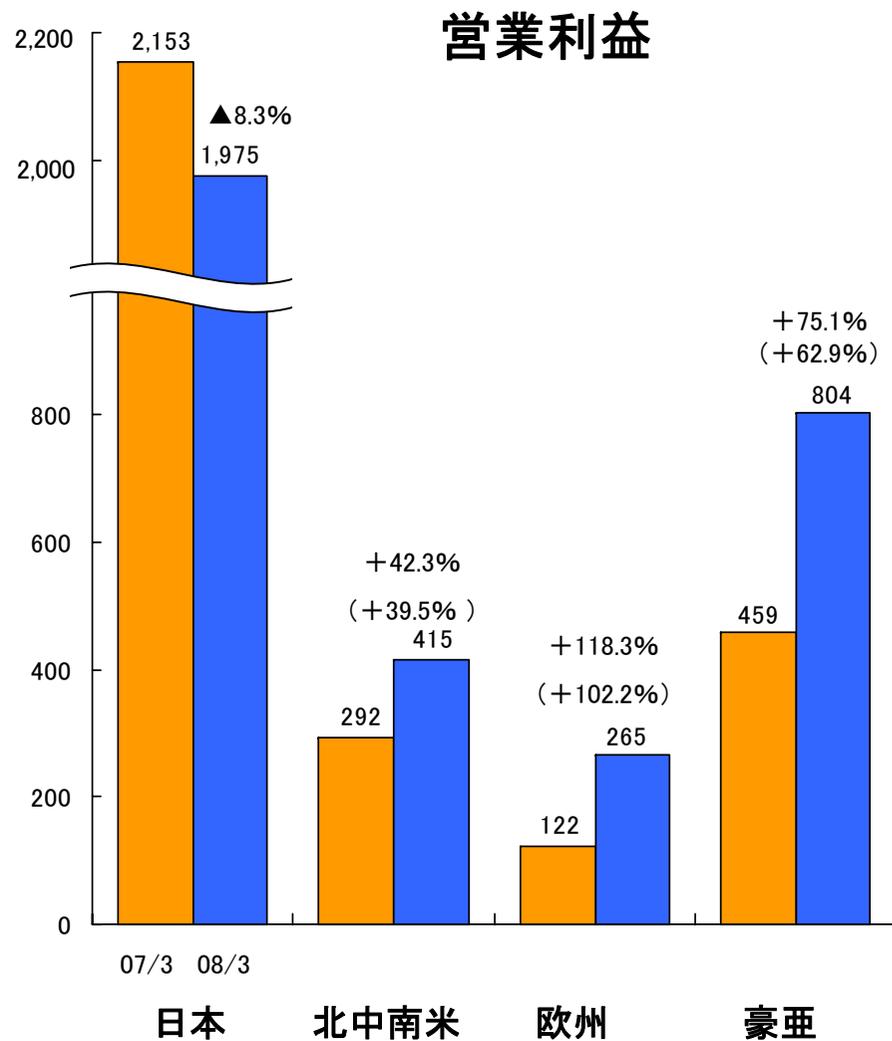
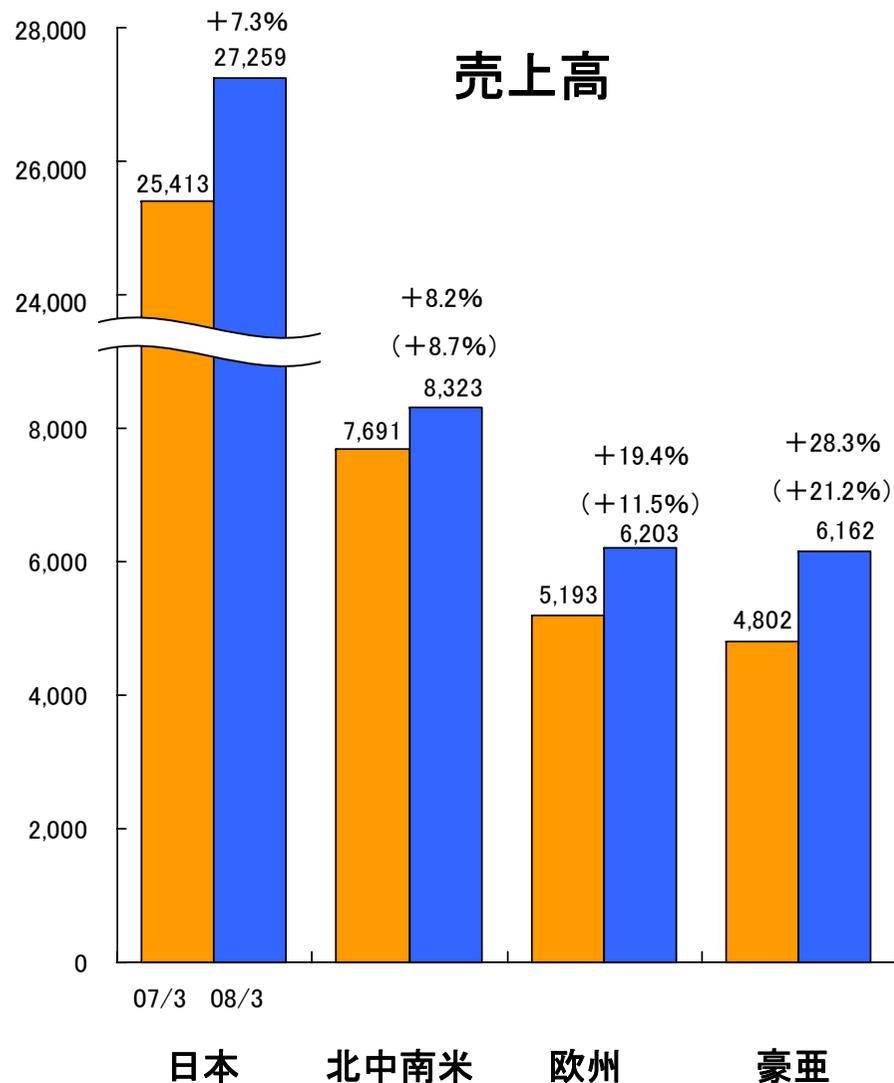
2008年3月期 経常利益増減要因(前年比)



2008年3月期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

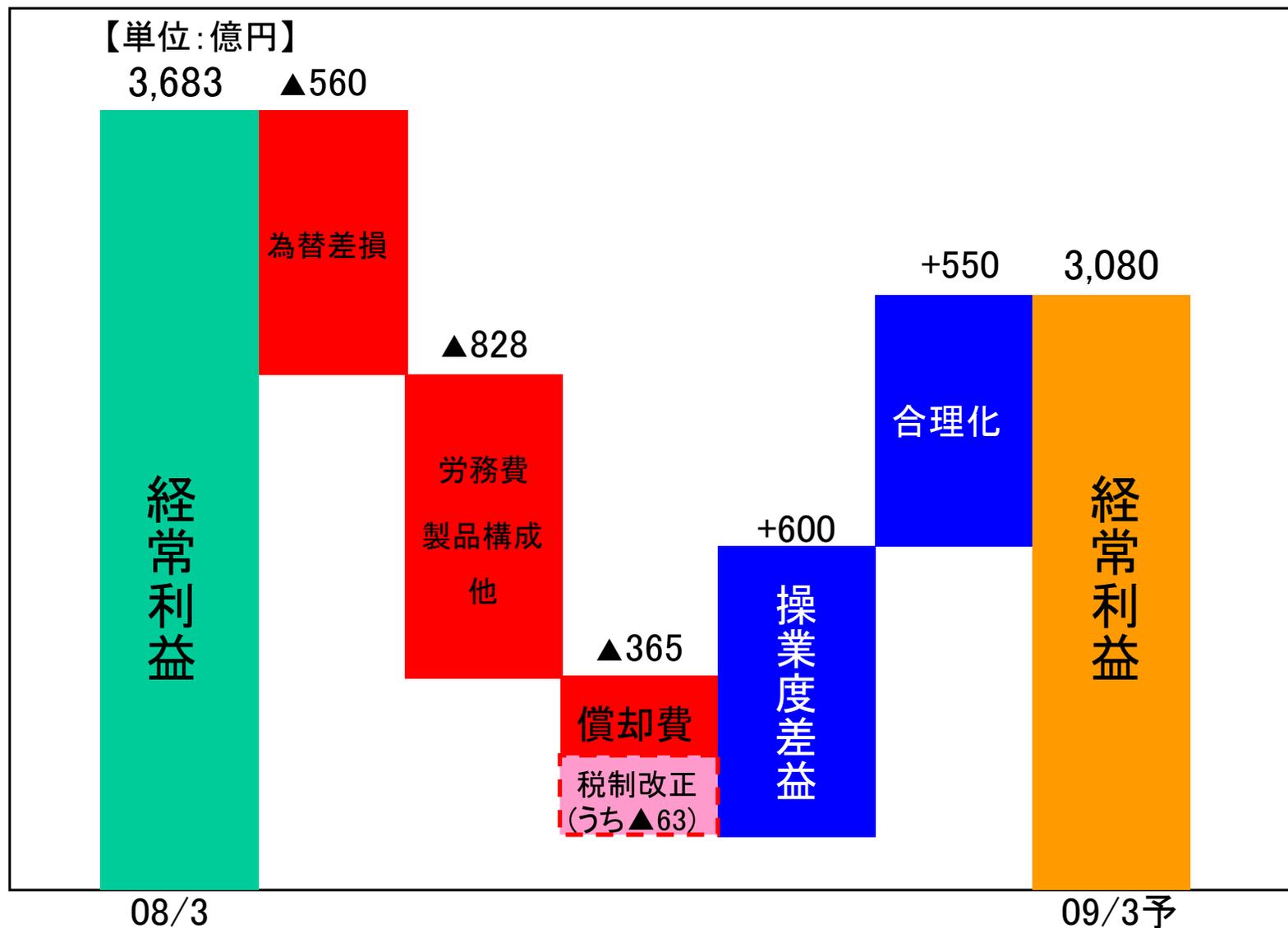


2009年3月期 予想

【単位:億円】

	09/3期予想	08/3期実績	増減額	増減率
売上高	40,300	40,251	+49	+0.1%
営業利益	(7.2%) 2,890	(8.7%) 3,487	▲597	▲17.1%
経常利益	(7.6%) 3,080	(9.2%) 3,683	▲603	▲16.4%
税引前利益	3,080	3,648	▲568	▲15.6%
当期純利益	(5.0%) 2,000	(6.1%) 2,444	▲444	▲18.2%
為替レート	100円/ドル 155円/ユーロ	113円/ドル 160円/ユーロ	13円 円高 5円 円高	
国内車両生産	1,213万台	1,180万台	+33万台	+2.8%
海外日系車生産 (内、北米)	1,329万台 (453万台)	1,253万台 (460万台)	+76万台 (▲7万台)	+6.1% (▲1.5%)

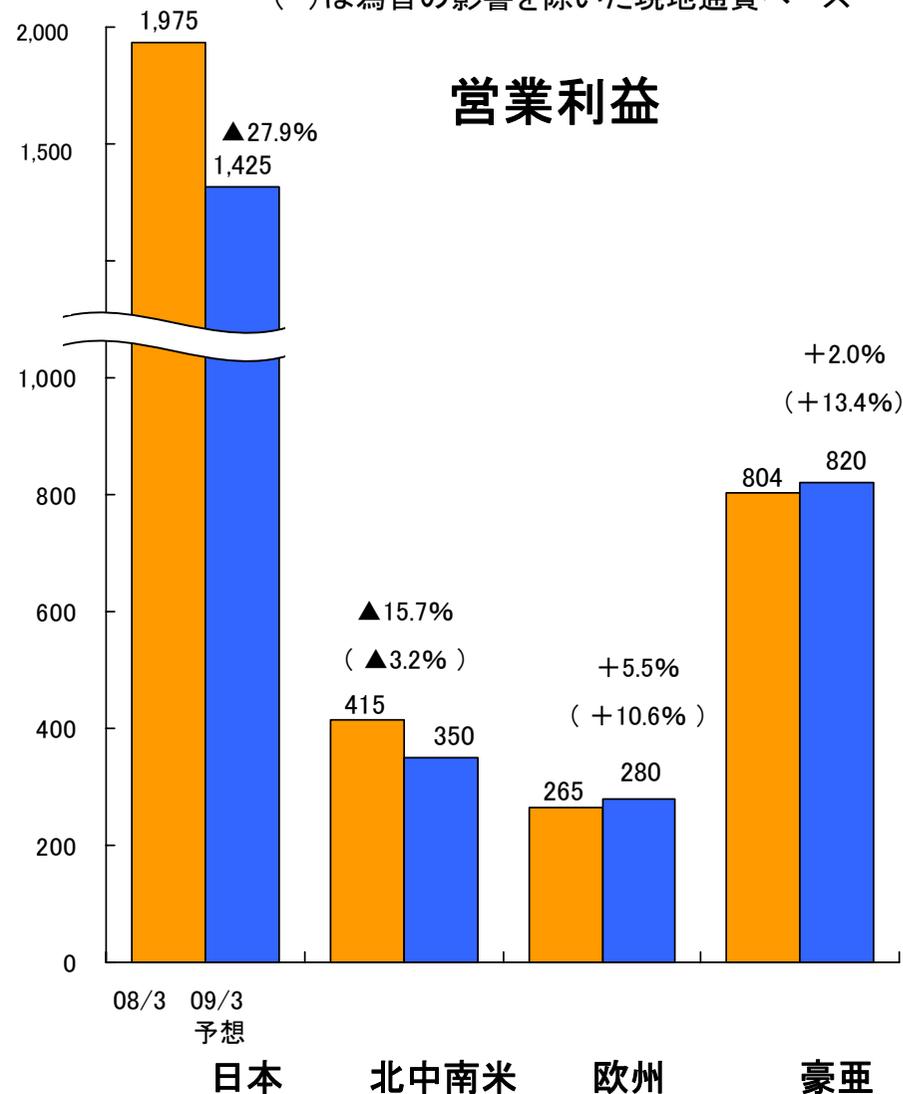
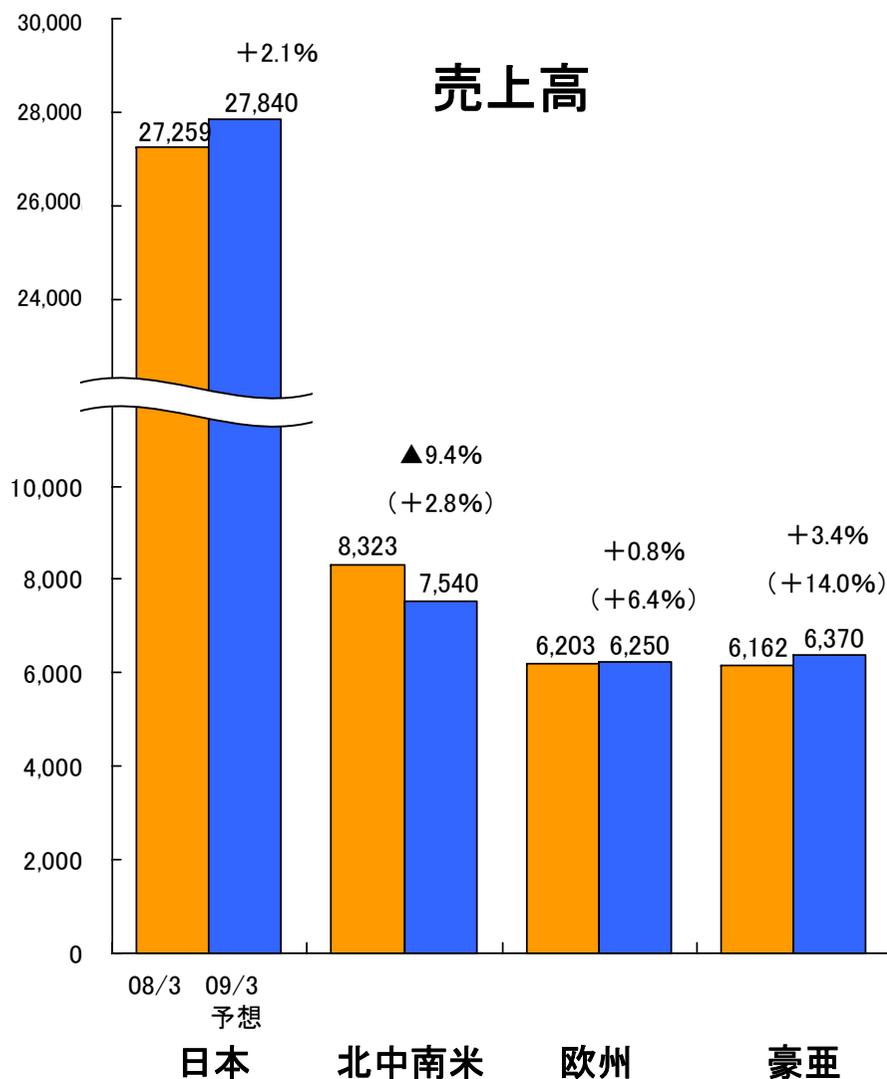
2009年3月期 経常利益増減要因(前年比)



2009年3月期 所在地別セグメント情報(前年比)

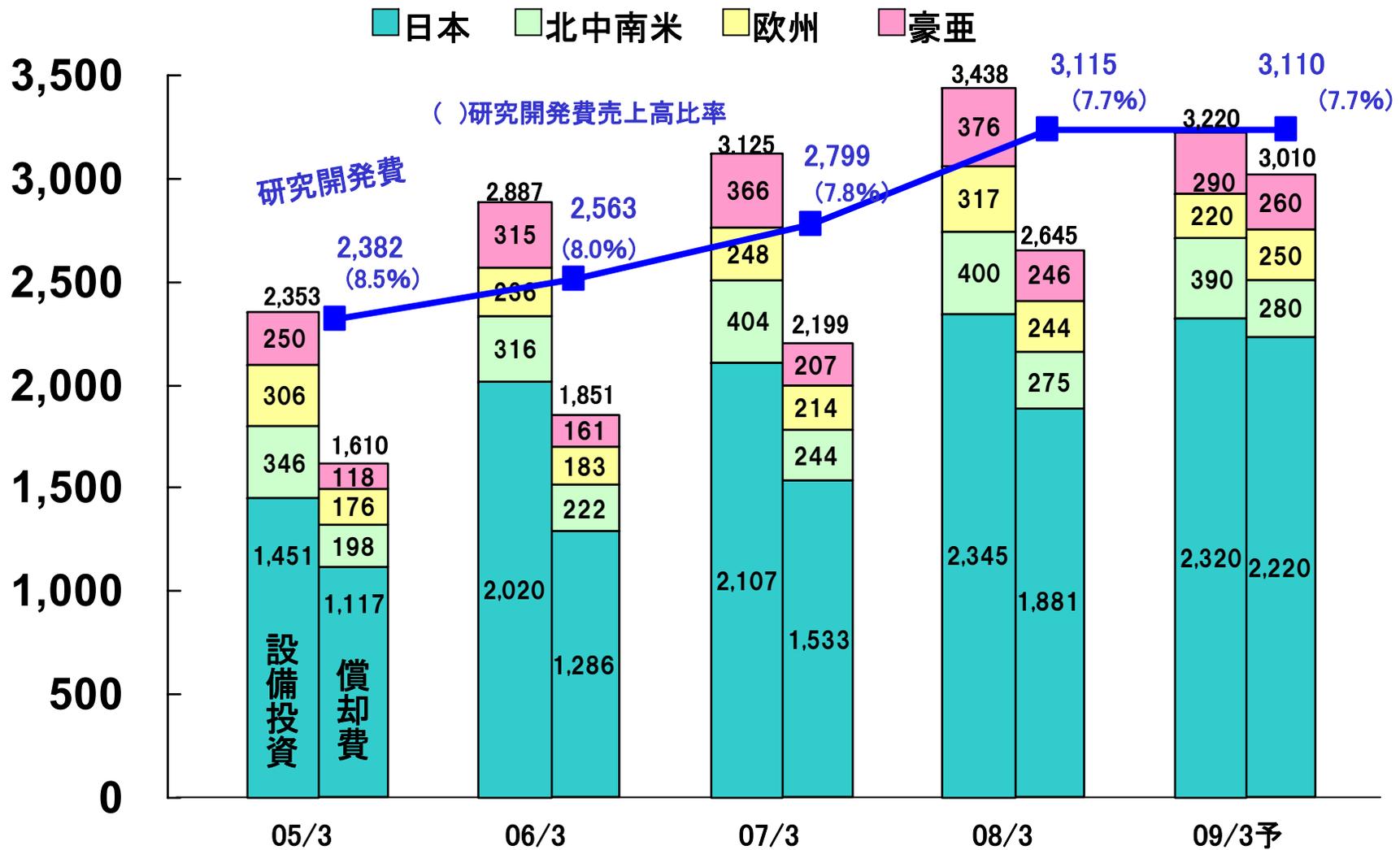
【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

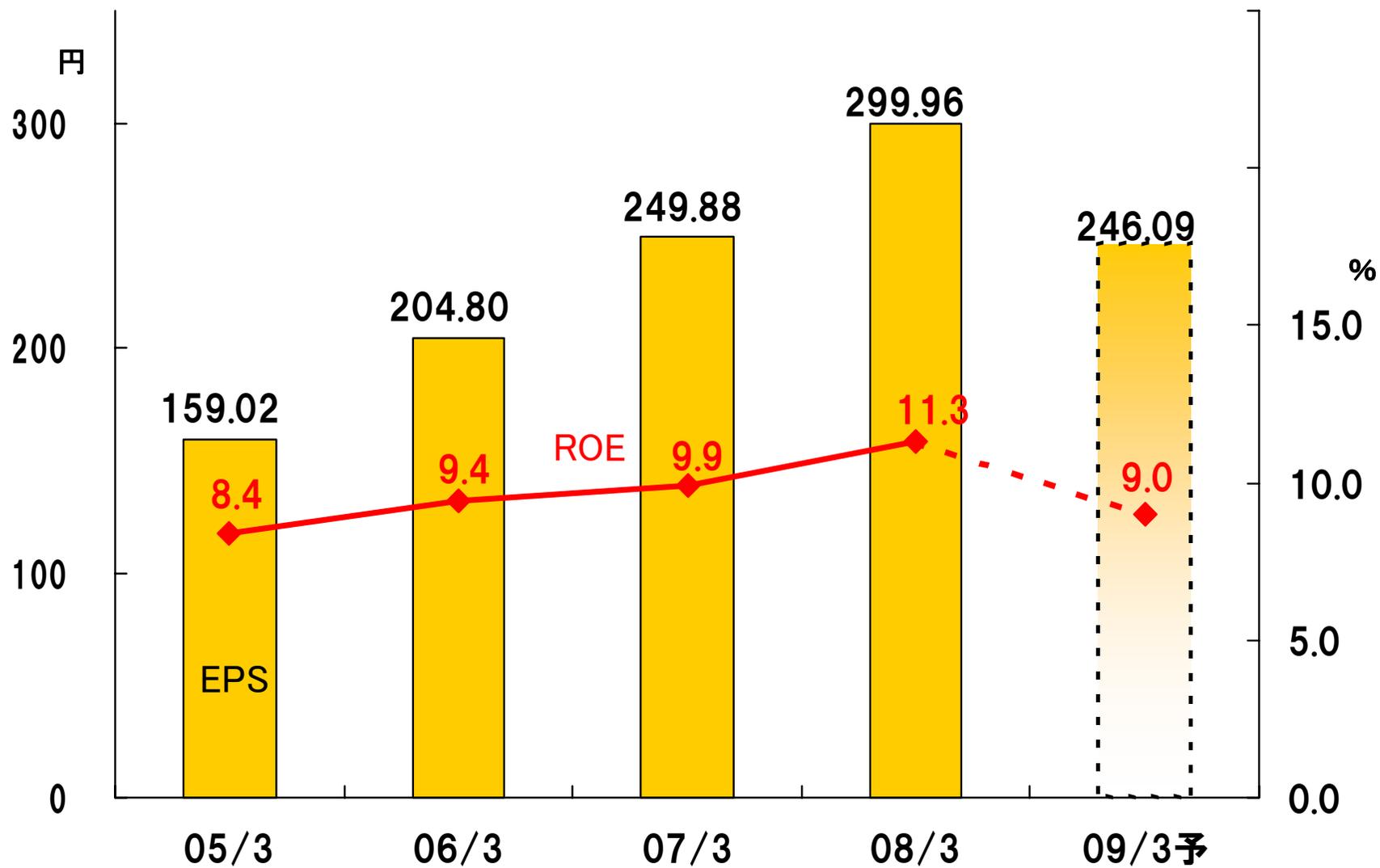


設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】



その他財務指標 (EPS・ROE)

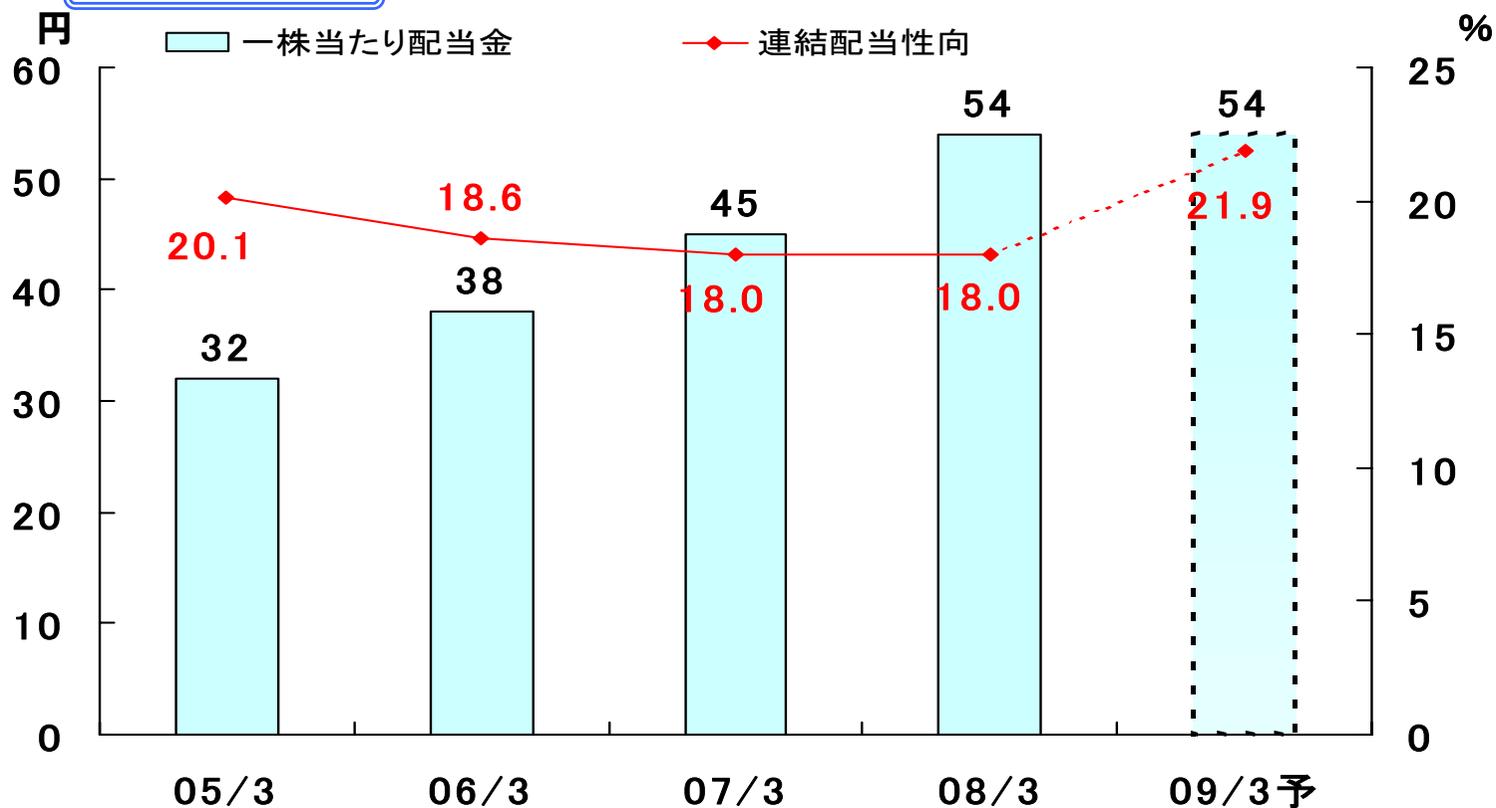


株主還元

08/3 利益処分 : 07/3より 9円増配の54円を予定

09/3 自社株取得枠: 600万株設定予定
利益処分 : 08/3と同水準の54円を予定

配当の推移



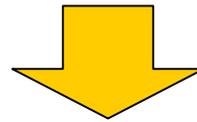
トピックス

1. 08年度 収益改善に向けた取り組み

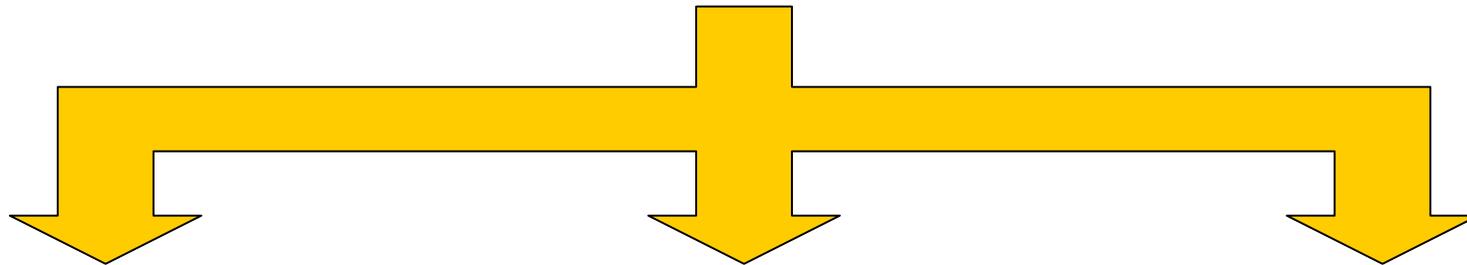
2. 新興国市場における取り組み

08年度 収益改善に向けた取り組み

円高の進行・原材料価格の高騰→かつてない厳しい事業環境



全社緊急コスト削減活動を展開中



経費の総点検
(費用対効果の再検証)

管間部門の効率化
(業務の抜本的な見直し)

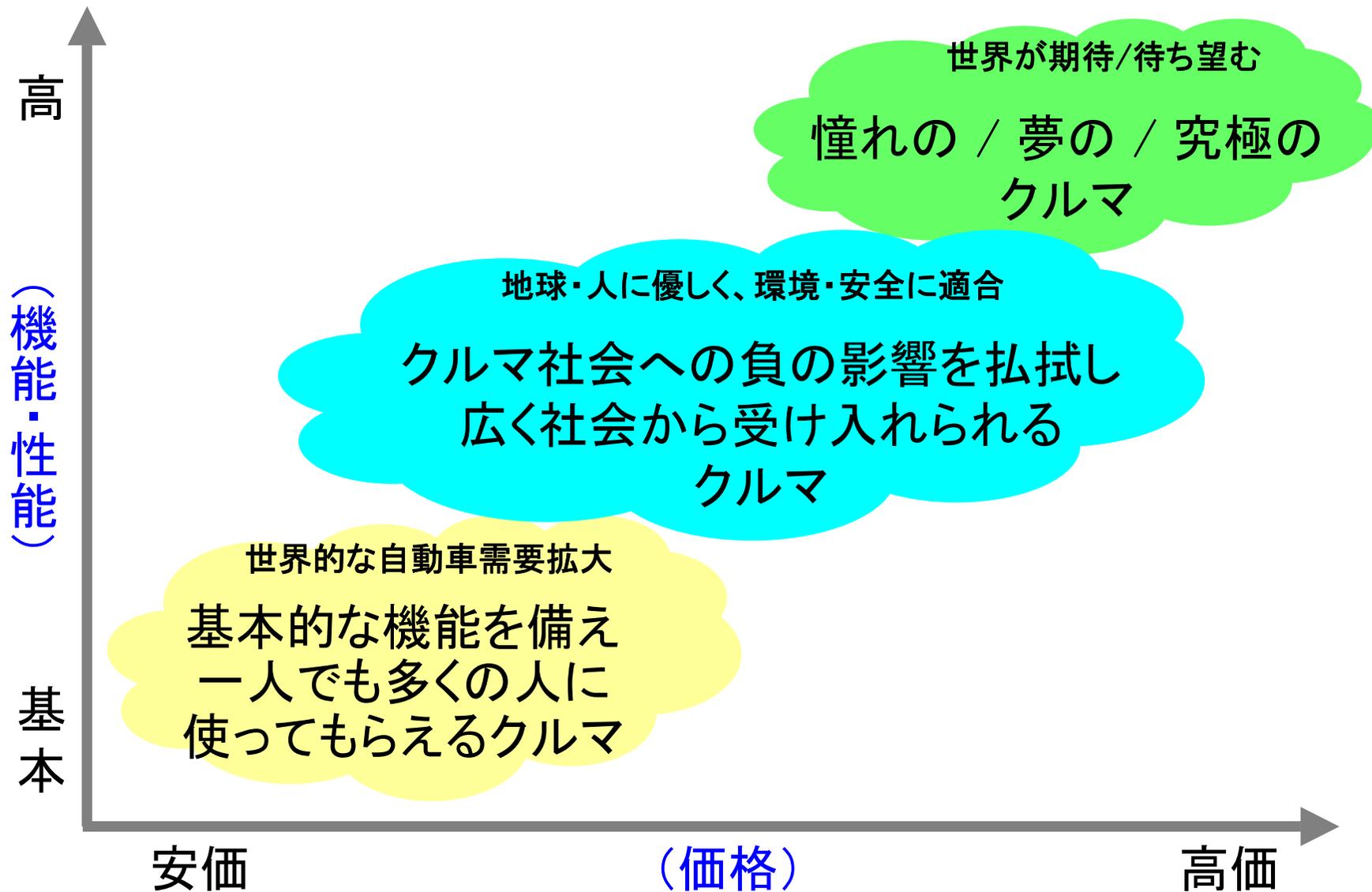
円高の活用
(輸入部品拡大)

トピックス

1. 08年度 収益改善に向けた取り組み

2. 新興国市場における取り組み

クルマの開発課題



先進的クルマ社会のための開発

環境、安全、快適、利便 の4分野を 商品開発の戦略分野として開発に注力する

クリーンな排気

- ・ハイブリッドシステム
- ・コモンレールシステム

地球温暖化防止

- ・CO2冷媒エアコンシステム
- ・エジェクタサイクル

情報通信、インターフェース

- ・ETC車載器
- ・ナビゲーションシステム
- ・ドライバーアシストコックピット



衝突予防・回避

- ・レーザ, ミリ波センサ
- ・エアバッグECU

統合セキュリティ

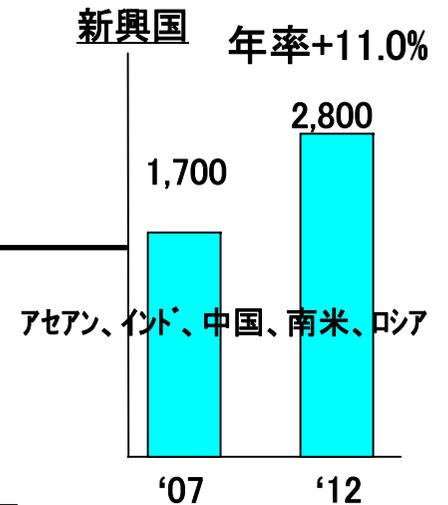
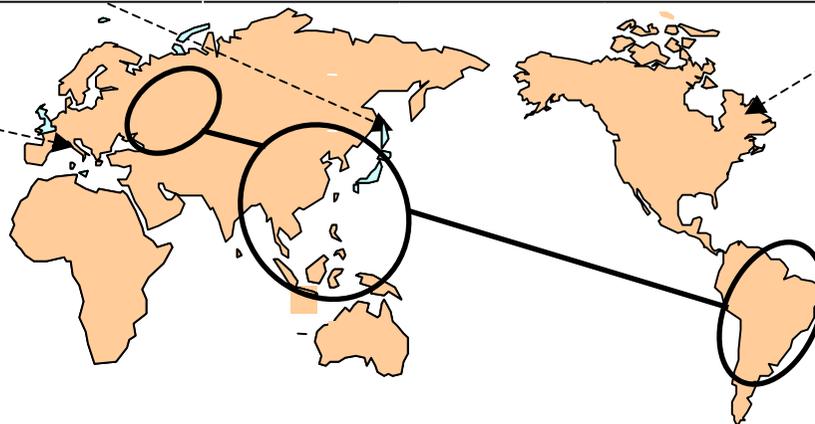
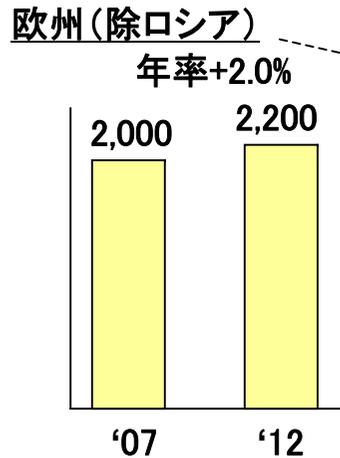
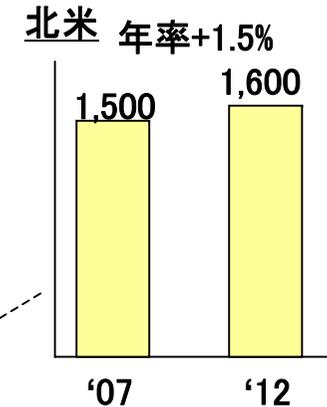
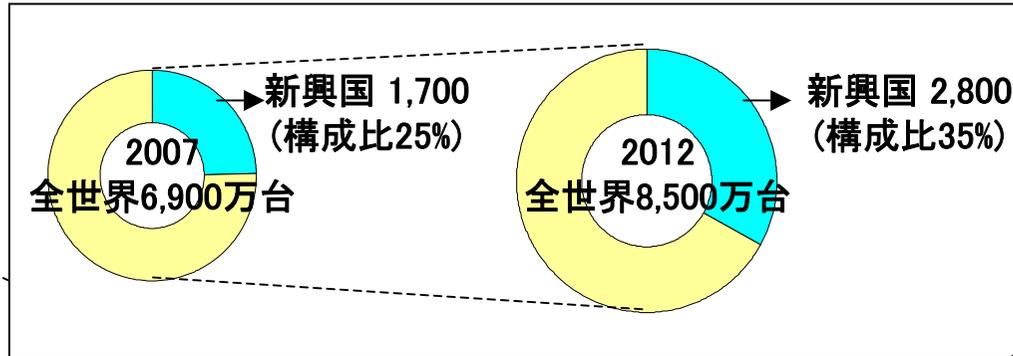
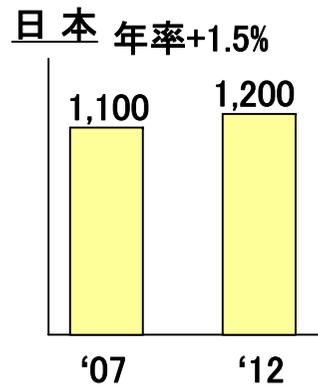
- ・イモビライザー
- ・各種セキュリティセンサ

快適車室環境

- ・マルチ空調、超小型エアコン
- ・芳香、振動制御システム
- ・熱マネジメントシステム

今後の世界の自動車市場

世界の地域別車両生産台数(万台/年) ~暦年ベース、大型トラックを除く~



今後の世界自動車市場は
新興国市場が牽引



新興国市場への
対応強化が不可欠

アジアでの事業展開

<小型・機能部品は独資による進出>

中国 25 拠点

インド 7 拠点

アセアン 18 拠点

- 生産拠点 41拠点
- 統括/販売拠点 8拠点
(テクニカルセンター 1拠点)
- テクニカルセンター 1拠点
- 合計 50拠点

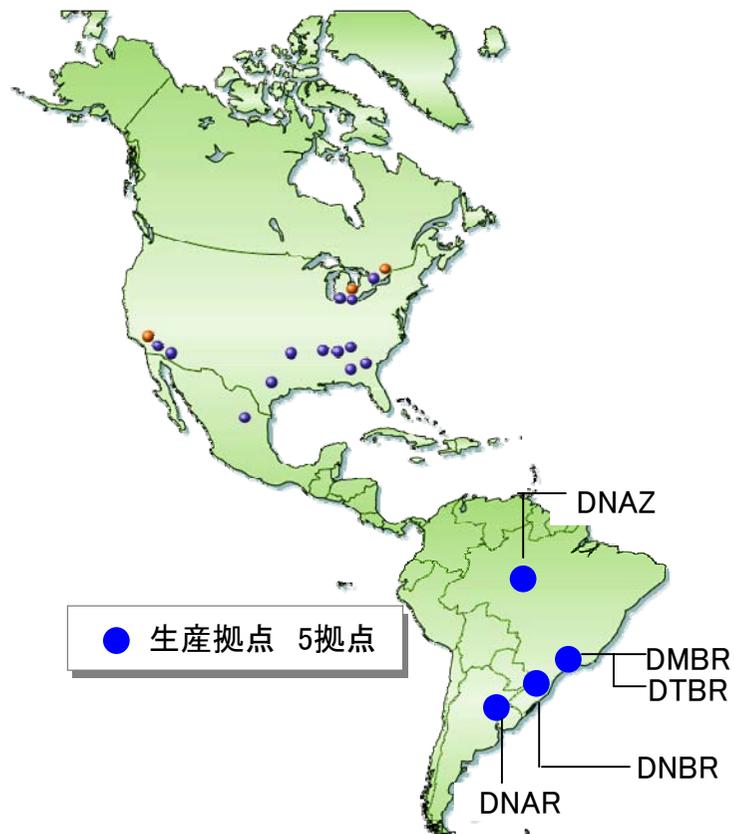
アジアでは、
 ①アセアン・インド
 ②中国
 の枠組みで事業戦略を展開

供給体制の考え方は
 ①小型・機能部品は集中生産
 ②バルキー製品は顧客隣国

<域内相互補完体制の整備>

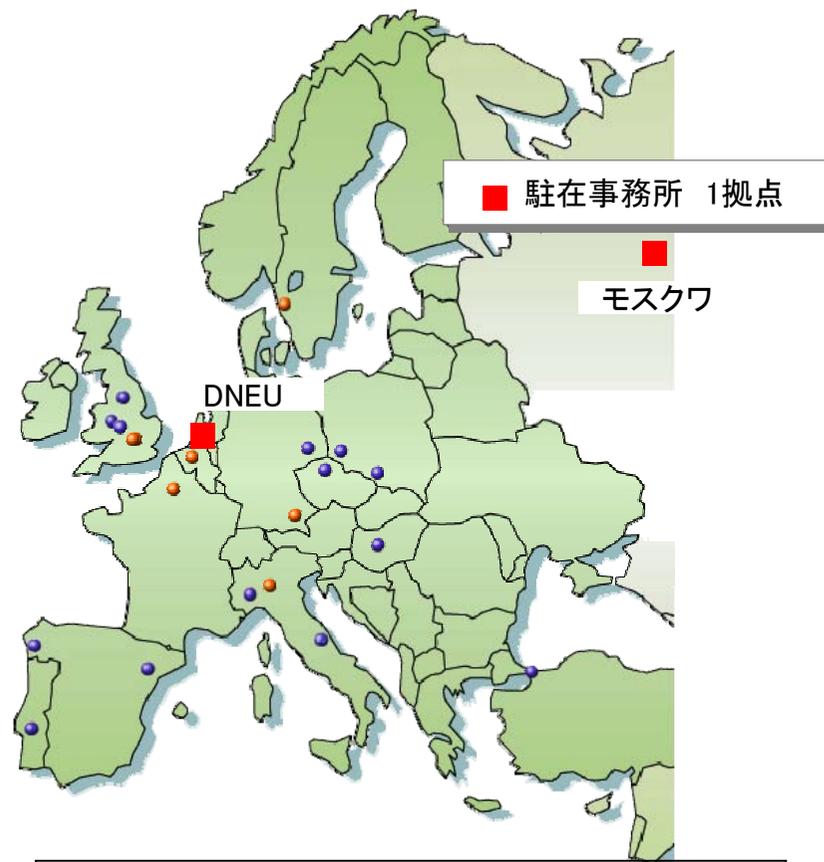
南米・ロシアでの事業展開

南米での事業展開



南米自動車生産の9割を占める
ブラジル・アルゼンチンで事業を展開

ロシアでの事業展開



欧州地域本社であるDNEUの駐在事務所を
2006年10月、モスクワに設置

新興国市場を取り巻く環境の変化

<従来の戦略(～2005年)>

製品輸出+日本製品の現地への移管 = 「日本並み品質・コスト」の実現

自動車市場の急拡大
(特にコンパクトカー・超廉価車)

市場のボーダーレス化
(欧米サプライヤーのアセアン市場進出)

地域毎に異なる
パワートレインニーズ
(エタノール・燃料性状の違い)

カーメーカーによる
域内開発拠点の設立
自主開発車の拡大

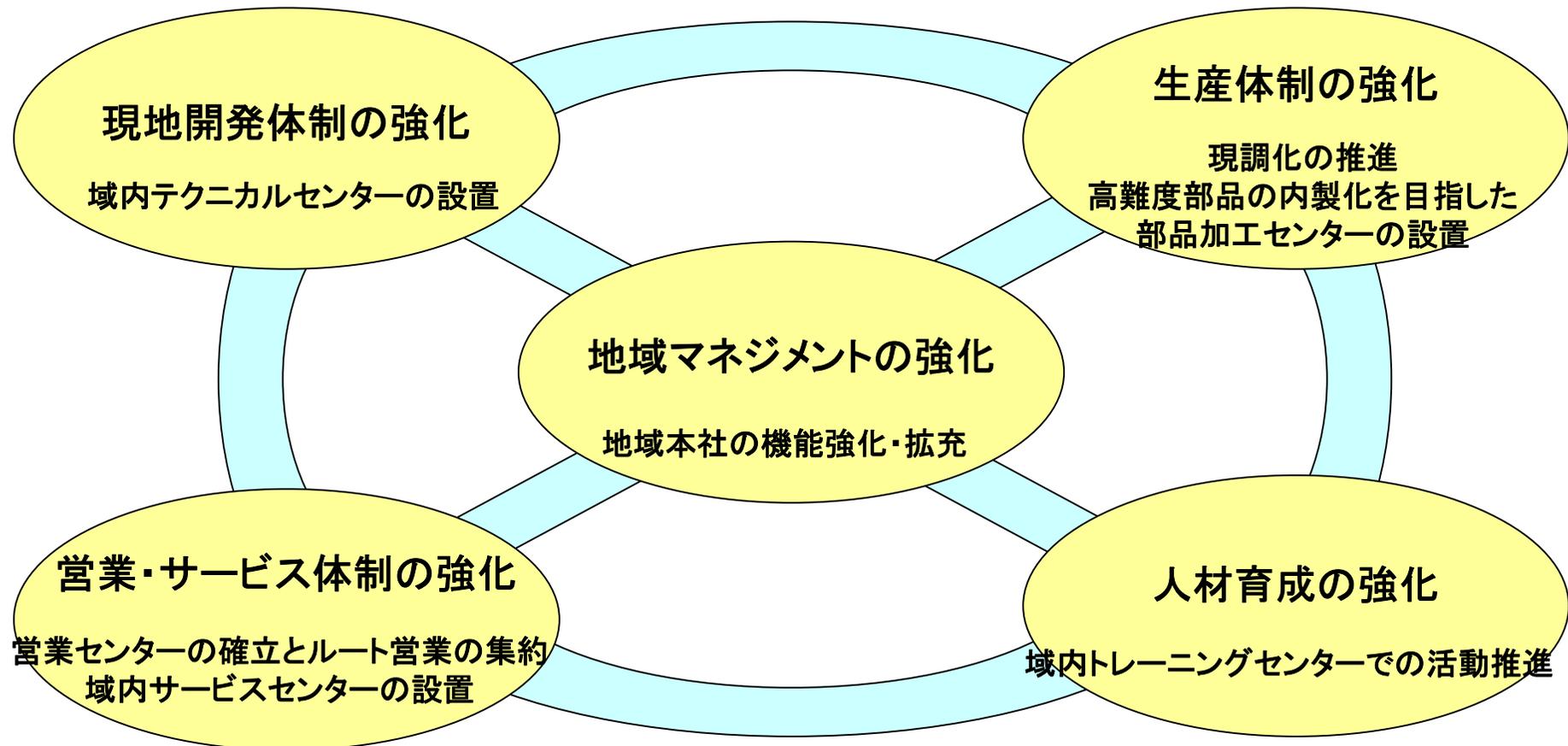
<今後の方向(～2015年)>

地域最適製品の開発・生産・供給の実現

今後の取り組み内容

地域最適製品の開発・生産・供給の実現

— 地域としての連携、横串、機能強化 —

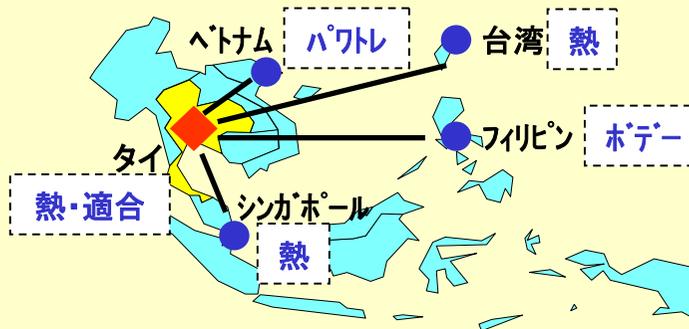


DIAT(タイ)テクニカルセンターの設立

<狙い>

- ① 地域最適製品の開発と顧客現地開発への対応 ② アジア技術者の最大活用

地域の技術部門を統括し、
開発(材料含む)・設計・試作・評価・実験を完結
⇒ 顧客のR&D機能に呼応するテクセン実現



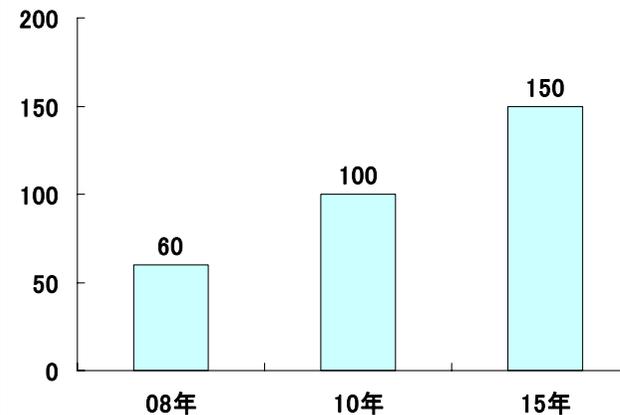
ーテクセン業務内容ー

- ① アジア専用品開発
(例)カーA/C設計～実車評価(風洞)
- ② 顧客エンジンの適合業務受託(ガソリン・ディーゼル)
- ③ 日本業務の一部請負

オフィス概観



人員計画



クルマがずっと愛されるために

DENSO

- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上

単独決算概要

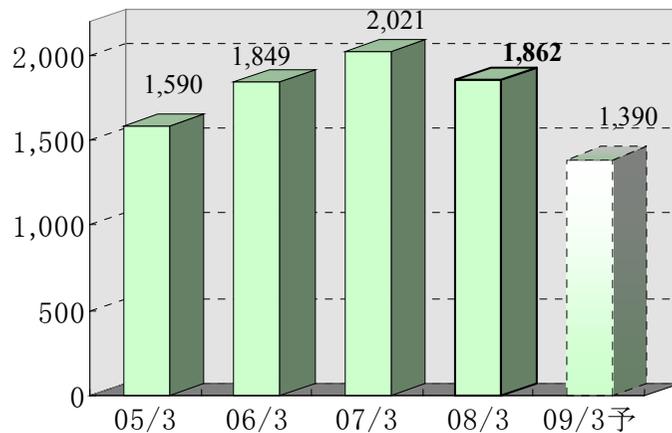
損益計算書

()内は売上高比

(単位:億円, %)

科目	08/3期実績		07/3期実績		前年比		09/3期予想		前年比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	(100.0)	24,780	(100.0)	22,929	1,851	8.1	(100.0)	25,000	220	0.9
売上原価	(87.7)	21,727	(86.1)	19,745	1,982					
販売費及び一般管理費	(6.1)	1,518	(6.6)	1,522	△ 4					
営業利益	(6.2)	1,536	(7.3)	1,663	△ 127	△ 7.6	(4.1)	1,020	△ 516	△ 33.6
営業外収支		326		359	△ 33			370	44	
経常利益	(7.5)	1,862	(8.8)	2,021	△ 159	△ 7.9	(5.6)	1,390	△ 472	△ 25.3
特別損益		△ 27		△ 48	21			-	27	
税引前当期純利益	(7.4)	1,835	(8.6)	1,974	△ 138	△ 7.0	(5.6)	1,390	△ 445	△ 24.3
当期純利益	(5.3)	1,312	(6.0)	1,379	△ 67	△ 4.9	(3.9)	980	△ 332	△ 25.3
国内車両生産		1,180万台		1,150万台				1,213万台		
為替レート(US\$)		113円		116円				100円		
為替レート(ユーロ)		160円		149円				155円		

経常利益の推移



経常利益増減要因(07/3→08/3)

(単位:億円)

プラス要因		マイナス要因	
操業度差益	550	製品構成変化	△ 288
合理化努力	270	償却費増	△ 252
為替差益	77	(うち、税制改正影響)	△ 118)
		労務費増	△ 175
		素材費増	△ 60
		営業外収支減	△ 33
		経費増他	△ 248
計	897	計	△ 1,056
経常利益増減		△ 159億円	

前提となる為替レート／車両生産台数

		08/3上期			08/3下期				08/3通期				09/3通期	
		前年	実績	前年比	前年	最新予想	実績	前年比	前年	最新予想	実績	前年比	予想	前年比
為替レート (円)	USD	114	118	4円 円安	118	109	108	10円 円高	116	113	113	3円 円高	100	13円 円高
	EUR	145	161	16円 円安	153	159	159	6円 円安	149	160	160	11円 円安	155	5円 円高
1円変動の 営業利益 影響額(億円)	USD	27	25	-	-	-	-	-	23	25	28	-	26	-
	EUR	8	8	-	-	-	-	-	7	8	8	-	8	-

【単位：万台】

国内生産	553	548	▲ 1%	597	643	632	+ 6%	1,150	1,191	1,180	+ 3%	1,213	+ 3%
北米日系車生産	217	226	+ 4%	228	231	234	+ 3%	445	457	460	+ 3%	453	▲ 2%
海外日系車生産	550	604	+10%	589	648	649	+ 10%	1,139	1,252	1,253	+ 10%	1,329	+ 6%

得意先別売上

【単位:億円, %】

区 分	08/3		07/3		増 減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ト ヨ タ	18,344	45.6	16,322	45.2	2,022	12.4
ダ イ ハ ツ	986	2.5	983	2.7	3	0.3
日 野	430	1.1	398	1.1	32	7.9
トヨタグループ計	19,760	49.2	17,703	49.0	2,057	11.6
本 田 技 研	2,912	7.2	2,700	7.5	212	7.9
ス ズ キ	1,161	2.9	1,085	3.0	76	7.0
富 士 重 工	596	1.5	528	1.5	67	12.7
い す ゞ	548	1.4	447	1.2	101	22.7
三 菱 自	558	1.4	461	1.3	97	21.0
三 菱 ふ そ う	167	0.4	147	0.4	20	13.8
G M	1,646	4.1	1,477	4.1	168	11.4
フ ォ ー ド	741	1.8	520	1.4	221	42.5
J A G U A R	128	0.3	130	0.4	△ 1	△ 0.9
ホルホ`/ランド`ローバー	363	0.9	332	0.9	31	9.3
マ ツ ダ	560	1.4	517	1.4	42	8.2
ク ラ イ ス ラ ー	656	1.6	717	2.0	△ 61	△ 8.5
ベ ン ツ	219	0.5	201	0.6	18	8.9
フ ィ ア ッ ト	1,213	3.0	881	2.4	332	37.6
現 代 ・ 起 亜	578	1.4	590	1.6	△ 13	△ 2.2
V W ・ A U D I	569	1.4	470	1.3	99	21.2
B M W	233	0.6	220	0.6	13	6.0
ル ノ ー / 日 産	389	1.0	308	0.9	81	26.1
P S A	213	0.5	112	0.3	101	90.0
その他メーカー	2,560	6.4	2,249	6.3	312	13.9
O E M 計	35,768	88.9	31,796	88.1	3,972	12.5
市 販 ・ 新 事 業 他	4,483	11.1	4,301	11.9	181	4.2
合 計	40,251	100.0	36,097	100.0	4,154	11.5

製品別売上

【単位:億円, %】

区 分	08/3		07/3		増 減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
熱 機 器	12,879	32.0	11,380	31.5	1,499	13.2
パワトレイン機器	9,402	23.4	8,301	23.0	1,101	13.3
情 報 安 全	6,500	16.2	5,839	16.2	662	11.3
電 気 機 器	3,681	9.1	3,300	9.2	381	11.5
電 子 機 器	3,497	8.7	3,107	8.6	389	12.5
モ ー タ	2,708	6.7	2,488	6.9	221	8.9
そ の 他 (※ 1)	444	1.1	475	1.3	△ 31	△ 6.5
自 動 車 分 野 計	39,111	97.2	34,890	96.7	4,221	12.1
産業機器・生活関連機器	585	1.5	656	1.8	△ 71	△ 10.8
そ の 他 (※ 2)	555	1.3	551	1.5	4	0.6
新 事 業 分 野 計	1,140	2.8	1,207	3.3	△ 68	△ 5.6
合 計	40,251	100.0	36,097	100.0	4,154	11.5

※1:補修品、子会社オリジナルブランド製品等

※2:通信(代理店ビジネス)、ディスプレイ等

主要製品の販売台数

【単位:千台、()内前年比】

	07/3期実績	08/3期実績	09/3期予想
コモンレール	2,306 (35.8%)	2,798 (21.3%)	3,167 (13.2%)
カーナビゲーション	1,204 (3.7%)	1,520 (26.2%)	1,553 (2.2%)